

# 熊本で輝く あなたのキャリア

「地方での就職に憧れる」「地元に戻って貢献したい」

「地方での就職を検討しているが、イメージが湧かない」そんな方へ、

実際にUIターン就職した先輩の体験談をご紹介します！



熊本県UIターン  
就職支援サイトを見る



相談窓口や各種補助金  
について調べる

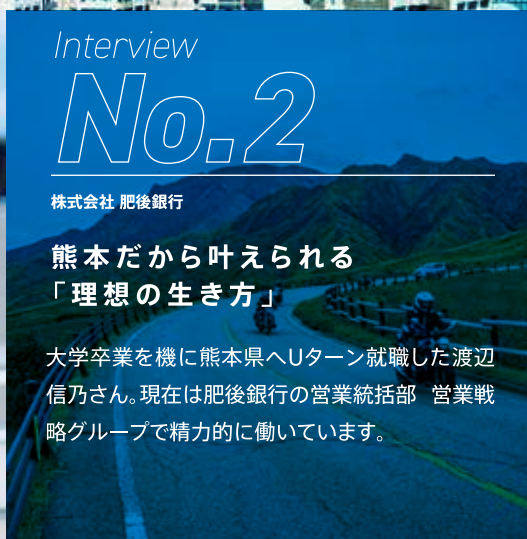


## Interview No.1

ソフトウェアビジョン 株式会社

一度離れたから感じられる  
「熊本の魅力」

IT黎明期の1983年に、同県に設立されたソフトウェアビジョン株式会社で、システム開発部に所属している桑原秀明さん。東京の大学を卒業後、熊本にUターン就職しました。



## Interview No.2

株式会社 肥後銀行

熊本だから叶えられる  
「理想の生き方」

大学卒業を機に熊本県へUターン就職した渡辺信乃さん。現在は肥後銀行の営業統括部 営業戦略グループで精力的に働いています。



(※1) …Japan Advanced Semiconductor Manufacturing 株式会社の略  
(※2) …Taiwan Semiconductor Manufacturing Company Limitedの略

## Interview No.3

Japan Advanced Semiconductor Manufacturing 株式会社

世界にもアクセスしやすい  
「熊本でキャリアを築く」

2021年に設立された「JASM(※1)」。半導体受託生産の世界最大手である「TSMC(※2)」の熊本工場運営子会社にあたります。今回はJASMのMaterial Management Departmentに所属している望月勇輝さんに、熊本県へのUIターンについてお話を聞きました。

## ソフトウェアビジョン 株式会社

# 就職、親孝行、結婚。「都会暮らしを望んでいるわけではない」という気づきが、熊本へのUターンのきっかけに

## ほどよく都会で

## ほどよく田舎の住み慣れた土地で働く

### ――まずは自己紹介をお願いします。

熊本県の合志市出身で、小学校3年生からは熊本市で育ちました。東京の立教大学への進学を機に上京し、Uターン就職でソフトウェアビジョンに新卒入社しています。社会人3年目の25歳で、現在も熊本市で暮らしています。

### ――Uターンを決意したきっかけは何でしたか？

故郷である、熊本の企業を中心に就職活動をはじめたことですね。当初は熊本の企業だけでなく、近隣の福岡県をはじめとした九州の企業をメインにしつつ、首都圏にある企業も視野に入れていました。ただ、転勤を繰り返すイメージがあまりわからず、次第に熊本の企業をメインに就職活動を続けるようになりました。

### ――Uターンで熊本県を選んだ理由を教えてください。

熊本に家族がいたことが大きいですね。熊本であれば家族と頻りに会うこともでき、親孝行しやすいはずだという考えがありました。

そして、熊本であれば中心地にはぎわいもあり、ほどよく都会も田舎も感じられる上、自分の住み慣れた土地で働くこともできます。

また、サーフィンで宮崎県を訪れたり、大分県の九重スキー場に行ったりすることの多い私にとっては、九州の真ん中に位置して各県へのアクセスのよい熊本は利便性がとても良いです。

## 都会暮らしをしたいわけではない

## と気づいた理由



### ――Uターン前後で、生活スタイルはどのように変化しましたか？

大学進学を機に一度熊本から出てからこそ、「自分は都会暮らしをしたいわけではないのだな」と実感しましたね。実際、東京に住んでいながら群馬県でスノーボードのインストラクターとして雪山ごもりをするなど、自然の中にいるのが合っていると感じていました。

東京であれば多くの企業があり、バリバリ仕事をこなす環境は整っています。ただ、私は最先端への憧れや競争意識が強いわけではなかったため、最終的に熊本で仕事ができるのであればそれで問題ないのではないかという思いに至りました。今振り返ると、当時からワークライフバランスを重視する考えだったといえそうですね。

### ――Uターンして良かったと感じる点を聞かせてください。

最近、学生時代の東京の友達を天草市のイルカウォッチングに連れていったところ、野生のイルカの群れと遭遇できて感動してもらえたのは嬉しかったですね。都会で生まれ育った彼らからすると、田舎は新鮮な体験ばかりで、「すぐリフレッシュできた」と楽しんでもらえたようです。

私自身、宮崎や大分にも車なら数時間で行けるアクセスの良さを感じるとともに、自然に触れることで「熊本に戻ってきてよかった」と改めて思いますし、ワークライフバランスの充実を実感する日々です。

## 仕事を理由にUターンを諦めるのはもったいない

### ――Uターンを支援する行政サービスや制度を利用しましたか？利用した場合、どのような印象を持ちましたか？

就職活動時に、熊本のUターンサポートデスクを利用しました。親切な対応とともに、ソフトウェアビジョンを知ったきっかけになったことを今でも覚えています。

### ――熊本県の魅力だと感じる点を教えてください。

繰り返しになりますが、ほどよく都会と田舎を感じられ、九州の真ん中に位置することから県外にも行き来しやすいアクセスの良さがあります。

その上、東京と比べると安価で広い家に住むことができることもあり、日々の生活で閉塞感は一切感じません。最近ではリモートワークも定着して、東京をはじめとした都市部での仕事をこなすこともできるため、公私ともに充実した生活が可能な環境が整っています。

### ――熊本県へのUターンを考えている人へのアドバイスがあれば教えてください。

地方から都会に出る理由のひとつに、都会で仕事をバリバリこなしたいという思いがあるかもしれませんが、熊本にもやりがいのある仕事が多くあります。

また熊本から都会に行こうと思えば福岡が近くあり、東京にも熊本空港からアクセスできます。私自身はどこで暮らせば日々の生活を穏やかな気持ちで過ごせるかと考えたとき、広い家で自然もある環境であれば幸せの総量が高まると感じました。

同じように、都会と地方のどちらに生活拠点を置いた方が自身の幸せにつながるかと考えたとき、地方で暮らす選択肢が生まれる人も少なくないのではないのでしょうか。

# 新卒で東京から熊本にUターン。 多様なキャリアの選択肢と豊かな暮らしを実現する 「肥後銀行」での経験

株式会社 肥後銀行



## 若いうちから挑戦できる環境を求めて 「Uターン就職」

——渡辺さんが熊本にUターンした経緯を教えてください。

私は熊本県出身で、高校までは熊本市に住んでいましたが、大学進学を機に東京へ上京しました。就職活動中は主に東京近辺で勤務できる企業を見ていましたが、最終的には肥後銀行への入行を選び、熊本県に戻りました。

——選択肢は首都圏の方が多いと思いますが、何が決め手になって熊本に戻ったのでしょうか。

就職活動では「若いうちからいろんなことにチャレンジできること」を重視して、幅広い業界を受験しました。首都圏の企業が多かったのですが、自分に合う企業を選びたかったので働く場所にはこだわらずに探していました。

そんなとき、肥後銀行で働く先輩と話す機会があり、肥後銀行が多様な挑戦機会を提供していることを知りました。大学で地域社会や経済の活性化を学んでいたこともあり、地元で地域貢献しながら働けることが決め手となりました。

## 生活コストを抑え、都会と自然の両方を楽しむ

——東京から熊本に戻り、生活スタイルに変化はありましたか？

東京から熊本に戻って来て、熊本の空の広さや空気の美味しさを実感します(笑)。東京に住んでいた頃にはなかったご近所付き合いや人とのつながりの濃さも懐かしく感じています。

熊本は中心地でも首都圏と比較すると物価が安く、何不自由なく暮らせています。子どもを育てる環境としても、慣れ親しんだ熊本なら安心です。

また、台湾の半導体企業TSMCが誘致されたことで人の流動性も高まり、新しい動きが次々と生まれているため、経済的な潤いも含めて子どもたちに良い影響をもたらしてくれることを期待しています。

——渡辺さんが実感している「熊本県の魅力」を教えてください。

私は家族を含めツーリングが趣味なのですが、ツーリングを楽しむ方なら「ライダーの聖地」と呼ばれる阿蘇の絶景まで、熊本市内からすぐにアクセスできることが個人的には魅力に感じています。雄大な自然の中でのツーリングスポットが多く、移住を考える方もいるほどです。

また、新幹線を使えば約30分で福岡県の博多駅にも行けるので、生活コストを抑えながら都会と自然の両方を楽しめるのは熊本の良さです。

## 熊本は日本で一番元気な県。

## チャンスは熊本にあり！

——熊本に住み、働くとなると、熊本経済の状況も気になると思います。将来への不安はありますか？

それは今のところありません。熊本県にTSMCが進出し、その経済波及効果は11.3兆円とも言われています。それに伴って、新駅の設置や都市開発、交通渋滞を解消するためのインフラ整備が急ピッチで進められています。特にインフラ整備は国家プロジェクトでもあるため、他の地域では起きないことが熊本県で起きていると実感していますね。

実際、台湾の学生が熊本で就職できるよう、県内企業と連携して現地での企業説明会を開催するなどの動きもあります。少子高齢化の問題は抱えつつも、「日本一元気な県」と言っても過言ではないと思います。

こういったタイミングだからこそ、熊本へのUIターンは人生やキャリアのターニングポイントになるはず。県外から進出するスタートアップ企業も増えており、熊本は想像以上に元気なので、現地で実際に体感してほしいです。

また肥後銀行には若いうちから責任のある仕事に携わらせてもらえるカルチャーがあり、私も20代の頃から数億円のプロジェクトに参画したり、数百万人のお客様に対して有益なサービスの企画・提案・実行をしたりと、多様な経験を積んできました。もちろんハイキャリアの方が任されるポジションも多々ありますので、肥後銀行を一つの選択肢に考えながら熊本へのUIターンを検討していただきたいと思います。



——最後に、熊本県へのUIターンを考えている人へのアドバイスをお願いします。

熊本に戻りたい、もしくは熊本に興味があるなら、まずは一步踏み出してみることをお勧めします。リモートワークが可能な方は熊本にしばらく滞在して移住を検討するのも良いですし、週末や長期休暇を利用して訪れ、地域の人やお店、企業と触れ合うのも良いと思います。

一步踏み出すことで新しい出会いや発見が待っているでしょう。「ダメだったら戻る」という気持ちで訪れてみてください。

Japan Advanced Semiconductor Manufacturing 株式会社

半導体産業で盛り上がる「熊本」。

食事、環境、アクセス、仕事。一度でも訪れれば、その魅力に気づく



東京は想像よりも遠くない。

国内外へのアクセスは抜群

——まず自己紹介をお願いします。

JASMに1年ほど在籍し、現在はMaterial Management departmentで主にサプライチェーンマネジメントのバイヤー業務を担当しています。

出身は静岡県で、大学では国際ビジネスを専攻していました。前職では自動車業界の生産メーカーに新卒入社し、最初は群馬県で働き、その後に福岡県久留米市に出向して人生で初めて九州に住むことになりました。

——UIJターンを決意したきっかけは何でしたか？

以前から、英語を駆使して海外と関わりのある仕事をしたいという気持ちは持っていました。その上で、前職に入社した2020年にコロナ禍による半導体不足によって、自動車業界で生産台数の減少などが起こったことを目の当たりにし、半導体にも興味を抱きました。

JASMへの転職は転居も伴っていましたが、熊本であれば久留米からも1時間半ほどで距離的にも遠くありません。20代のうちに新しい業界にチャレンジしたいという思いもあり、転職を決めました。

——UIJターンで熊本県を選んだ理由を聞かせてください、他の地域と比較検討はしましたか？

すでに久留米に住んでいたことが大きかったですね。九州は気候もよく、食事もおいしい。そして、物価も高くないという、住みやすい条件が揃っています。振り返ると、久留米で暮らすうちに九州が好きになり、より知りたいという気持ちが芽生えていました。

また、想像以上に東京に近いと感じられたのも理由の一つでした。東京で暮らしていた学生時代は九州を非常に遠い土地とイメージしていましたが、実際にはそこまで遠くなく、飛行機に乗れば東京まで1時間半で着きます。

実は海外へのアクセスも抜群で、福岡空港のほかに、阿蘇くまもと空港からも香港と台湾、韓国への国際便が就航しています。今は阿蘇くまもと空港まで10分ほどのところに住んでいることもあり、距離的抵抗感はなくなっていますね。

グローバル企業は

東京だけにあるわけではない

——UIJターン前後で、どのような変化がありましたか？

まず仕事が一変しましたね。前職では群馬で生産管理や物流関係、久留米では営業職に従事していました。

ところが、現在は購買業務となるため、取引先様とのやりとりが中心となっています。具体的には、半導体生産に必要な化学製品やガス、作業着や手袋といった消耗品のバイヤーとして、品質や価格を考慮して多くの商談を行っています。

まだ入社して1年ほどですが、TSMCにとって日本初となる工場の立ち上げになるため、大変なことも多くありました。誰も経験のないプロジェクトで、正解がなく手探りの状態。一方で、任せられる裁量も大きいです。品質部門や製造部門といった他部署はもちろん、TSMC本社とも連携しながら業務を進めることで、自身の成長にもつながっている実感があります。

——仕事以外での変化はありましたか。

気軽にアウトドアができる環境があるので、朝からハイキングに出かけたり、夏は天草市のビーチや自然豊かな福岡県の糸島に足を伸ばしたりと自然を満喫しているのは大きな変化ですね。

海外へのアクセスの良さを生かして、韓国にも2回行きましたね。熊本からなら東京まで変わらず同じ1時間半で着きますし、会社の福利厚生サービスを活用することで航空運賃も抑えられます。

——UIJターンして良かったと感じる点を聞かせてください。

熊本は人々が温かく、自然は豊かで食事もおいしいため、非常に住みやすいですね。

私はプライベートでお酒を飲むことも多くありますが、繁華街は非常に栄えていてアクセスも抜群です。九州での街の規模としては福岡の天神に次ぐほどの大きさと、1度でも訪れてみるとその素晴らしさを実感できると思います。

熊本、“よかところ”。一度はおいで

——熊本県へのUIJターンを考えている人へのアドバイスがあれば教えてください。

1度訪れることをお勧めします。ショートステイすることで、熊本のことを好きになるのではないのでしょうか。

正直なところ、移住前は私も「熊本はあまり栄えていないのではないかと」勝手なイメージを抱いていました。ところが、実際に住んでみるといい意味でイメージは変わり、今では「勘違いしてごめんなさい!」と謝りたくなるほど、本当に素晴らしい場所だと感じています。

熊本は本当に魅力的ですから、まず訪れてみてください。一度訪れれば、必ず、「よかところ」と感じるはずですよ。

